

議会だより しずし /

編集・発行/酒々井町議会 〒285-8510 千葉県印旛郡酒々井町中央台4-11

No.191

ホームページは「酒々井町議会」で検索してご覧ください ☎043-496-1171

令和元(2019)年5月17日発行

未来に花を咲かせよう

大室台小学校入学式



大室台小学校の入学式が4月10日に行われ、53人が入学しました。新入生は緊張しながらも担任の先生から名前を呼ばれると元気に返事をしていました。

新たな議員16人が抱負を語る P2~P3

令和元年度予算、議案、請願等の審議 P4~P13

地域振興や教育施設整備、福祉問題
など議員8名が町政を問う P14~P18

130th
2019

千葉県
酒々井町誕生130年!!

日本で一番古い町・酒々井

新議員の16人が抱負を語る

酒々井町議会議員選挙が4月21日実施され16人の議員が決まりました。また、5月9日には、初議会となる臨時会を開催し、議長に江澤眞一議員、副議長に齊藤博議員が選出されました。なお、同日に各常任委員会、議会運営委員会、特別委員会の委員及び各委員会の委員長、副委員長が選任されたほか、組合議会議員等が選任されました。

議長
の補佐役として、懸命に努力していきます。皆様のご理解ご協力をお願いいたします。



副議長

歴史ある町の議長を拝命し、責任の重大さを感じています。これからも開かれた議会を目指していきます。



議長

総務 齊藤 博 4期(上岩橋 70歳)

総務 江澤 眞一 5期(墨 64歳)

一人の声を大切に、会って語って即実行をモットーに酒々井町の皆様のために頑張ります。



大石 法子 1期
教民 (上岩橋 58歳)

多様性を認め、誰もが生きやすい世の中になるように、皆様の生活を守るために頑張ります。



白井 則邦 1期
教民 (ふじき野 44歳)

若さと行動力で精一杯、酒々井町のために努めます。



小早稲 美穂 1期
総務 (東酒々井 44歳)

暮らしやすいまちづくりの実現！
発信力・行動力・実現力



須藤 伸次 2期
経済 (酒々井 70歳)

お年寄りの安心と、子どもたちの未来を守るために、若さと行動力で取り組みます。



金塚 学 2期
教民 (ふじき野 45歳)

子どもから高齢者までが、あたたかく支え合う町づくりに取り組んでまいります。



酒瀬川 芳子 1期
経済 (酒々井 69歳)

新議員の抱負

町民の皆様信頼される開かれた町政、議会になるよう、努力いたします。



内海 和雄 4期

教民 (墨 72歳)

町民福祉向上のため尽力します。



川島 邦彦 4期

教民 (上本佐倉 66歳)

「安全・安心」で、子どもから、高齢者まで笑顔で暮らせる酒々井町を目指します。



御園生 浩士 4期

総務 (ふじき野 65歳)

住民こそ主人公の立場で、住民の意見や要望を聞き、実現のために働きます。



地福 美枝子 8期

総務 (東酒々井 69歳)

住民こそ主人公、町民の声や願いを大切に働きます。



竹尾 忠雄 7期

経済 (柏木 72歳)

安全で安心して暮らせるまちづくりを目指し真剣に取り組んでまいります。



佐藤 修二 4期

教民 (東酒々井 80歳)

総務 … 総務常任委員会の委員

教民 … 教育民生常任委員会の委員

経済 … 経済建設常任委員会の委員

<常任委員会の委員長、副委員長>

委員会名	委員長	副委員長
総務	地福美枝子	御園生浩士
教育民生	川島 邦彦	白井 則邦
経済建設	須藤 伸次	竹尾 忠雄

<議会運営委員会>

◎御園生浩士	○川島 邦彦	高崎 長雄
地福美枝子	内海 和雄	須藤 伸次

※◎は委員長、○は副委員長

<議会だより編集特別委員会>

◎齊藤 博	○大石 法子	須藤 伸次
酒瀬川芳子	白井 則邦	小早稲美穂

初心に帰り、町民第一に全力を尽くします。



高崎 長雄 9期

経済 (墨 70歳)

酒々井町に住んで良かったと、思える歴史と文化を生かしたまちづくり。



越川 廣司 5期

経済 (本佐倉 76歳)

<議会選出の一部事務組合等議会議員>

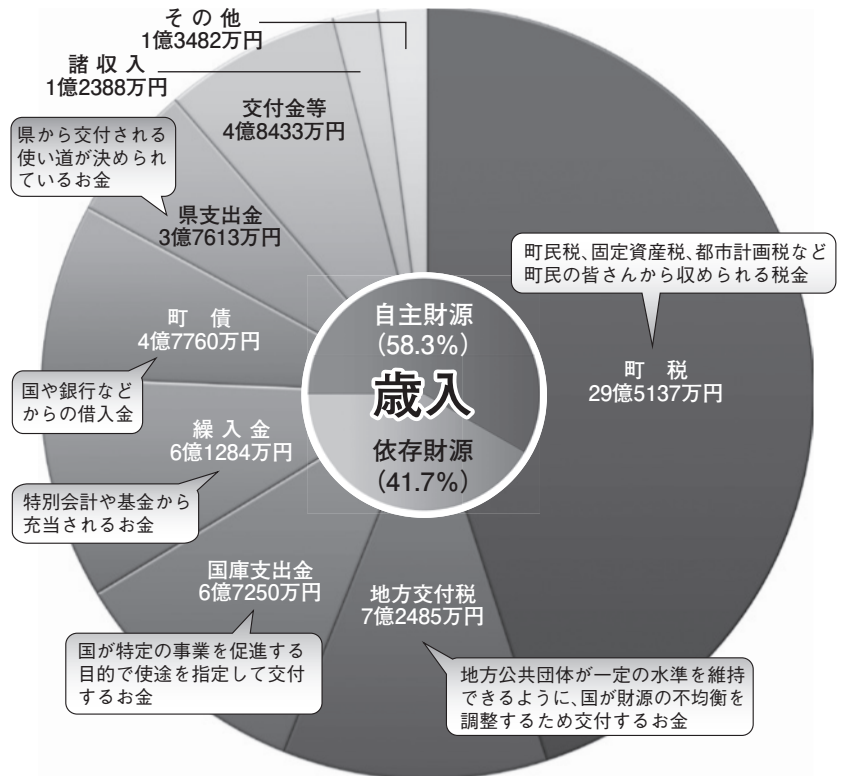
組合等名	議員名
印旛衛生施設管理組合	竹尾 忠雄
佐倉市八街市酒々井町消防組合	川島 邦彦 御園生浩士
佐倉市、四街道市、酒々井町葬祭組合	地福美枝子 佐藤 修二
佐倉市、酒々井町清掃組合	内海 和雄 須藤 伸次
千葉県後期高齢者医療広域連合	地福美枝子

まちづくりを推進

東酒々井に高齢者などが交流できる施設を整備

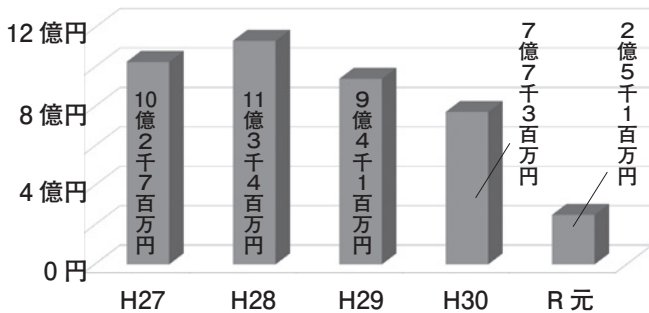
<歳入の概要>

町 税は、個人住民税、法人町人税、アウトレット第3期開業に伴う固定資産税の増加を見込み、前年度比1億4859万円の増額。地方交付税は、自主財源の増加による影響等から前年度比1635万円の減額。国庫支出金は、障害者の社会福祉費負担金等の増加により、前年度比988万円の増額。町債は、防災対策事業、農業基盤整備促進事業等の減少により、前年度比900万円の減額。繰入金は、社会資本整備基金繰入金等の増加により、前年度比6300万円の増額となっています。



※千円単価は四捨五入しています。

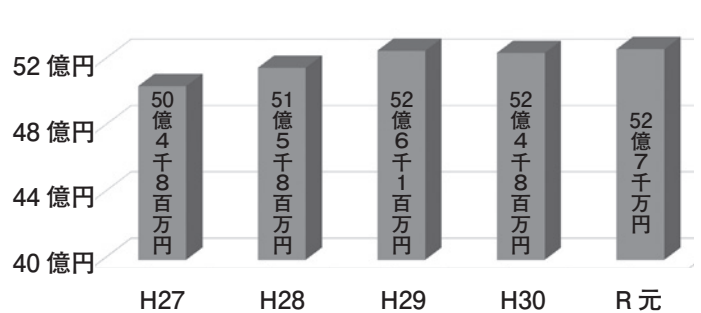
<財政調整基金（貯金）の推移>



※財政の不足を調整したり、急激な税の落ち込みや災害などに備えるための積立金です。

※数字はいずれも年度末で H30 および R元は見込み額です。

<町債（借金）残高の推移>



※道路や施設等を整備するために町が借り入れるお金ですが、近年、地方交付税で補われる地方の財源不足を、国の財源不足から町が国の代わりに借金する「臨時財政対策債」の借入金残高が増加しています。

ことば

自主財源とは、国や県等に依存しないで町独自に調達できるもので、町税、繰入金、負担金、使用料、手数料、財産収入、寄付金などがあります。また、依存財源とは、国や県等に依存して調達する財源で地方交付税、国庫支出金、県支出金、地方譲与税、地方債などがあります。

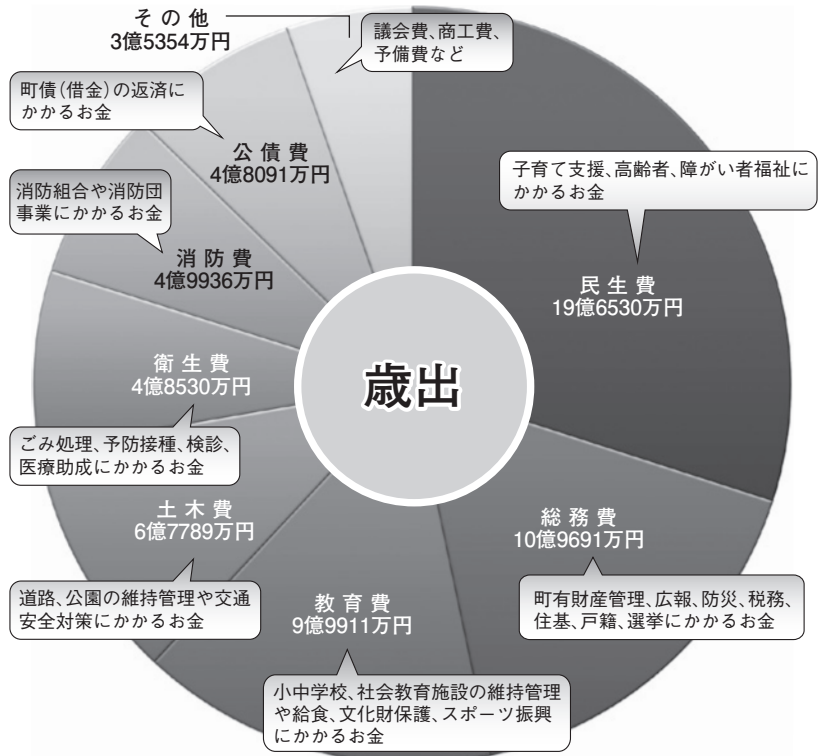
令和元年度当初予算

過去最大級の
65億5833万円

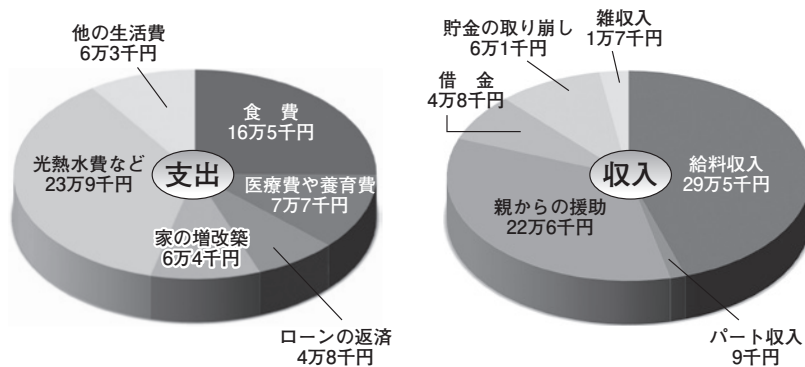
高齢者にやさしい

<歳出の概要>

総 務費は、130周年記念事業や人件費等により、前年度比1億1319万円の増額。民生費は、障害者総合支援事業および交流拠点施設建築工事等により前年度比4904万円の増額。農林水産業費は、農業基盤整備事業の減額等により前年度比5632万円の減額。教育費は、中央公民館施設整備工事等により前年度比6933万円の増額。公債費は、臨時財政対策債の償還額の増加等から前年度比1879万円の増額となっています。



令和元年度予算をひと月の家計に例えると



令和元年度の一般会計予算について、1億円を1万円に置き換えて、ひと月約65万5千円の家計に例えてみると、左のグラフのようになります。貯金の取り崩しや借金をして家計をやりくりすることになり、昨年同様大変になりそうです。

<議案第12号から第15号 令和元年度各種会計予算額>

会計区分	一般会計	特別会計	国民健康保険	介護保険	後期高齢者医療
予算額	65億5832万8千円	39億2849万7千円	23億1835万8千円	13億4534万円	2億6479万9千円
議決結果	議案第12号 可決 (賛成10人 反対2人)	—	議案第13号 可決 (賛成10人 反対2人)	議案第14号 可決 (賛成10人 反対2人)	議案第15号 可決 (賛成10人 反対2人)

令和元年度予算に関する 賛成 反対 討論

福祉向上と均衡ある発展が図られており 賛成

越川 廣司 議員

町税などの増収があるが引き続き大変厳しい財政状況の中、国や県の経済状況、施策等を十分に見極め、簡素で効率的な行政経営に努め、職員の意識改革と行政改革等により持続可能なまちづくりへの調整基盤づくりを行い町民福祉の向上と町の均衡ある発展を図っている。特に町の節目となる町制施行130周年記念事業をはじめ、各諸事業は町長の4期目の折り返しの年にふさわしい内容であり、高く評価し賛成する。

適切な配分であり 賛成

御園生 浩士 議員

予算編成が厳しい中、町の総合計画に沿い、かつ町民の望む「安心・安全」町に住みたい、来町したい「魅力」づくり、町民の「健康増進」等に適切に予算配分されている。健康福祉に関する「健康ポイント事業」は、新規事業で予算規模は小さいが、今後を期待する。地方創生事業では、駅前バス停上屋整備事業が東京学館生徒や来町者、町民、駅の利用者にやさ

しく利用できるよう周辺を継続的に整備してほしい。最後に決算特別委員会、監査委員の提言、意見、議会からの要望については、予算執行にあたり真摯に受け止め、特段の配慮を求めて賛成する。

※他に、齊藤議員からも賛成討論がありました。

国保の基金を取り崩し 施策を行うべきで 反対

地福 美枝子 議員

町は県広域化により、保険税の引き上げ団体となった。国保の根本的矛盾は、国、県、市町村の公費負担の増でしか解決しない。今回、資産割を廃止し、一部税が引き下げになる世帯、一方で限度額の引き上げにより増税になる世帯もある。税率を据え置いても国保税が高いことに変わりはない。財政調整基金を積むということは、今、求められている必要な施策を貯めなければできない施策をしていないということになるのではないか。財政調整基金の一部を取り崩し、町民が切に望んでいる福祉の向上、暮らし応援のためにこそ使うべきだと考え反対する。

中学校体育館屋根の改修 工事費を当初予算に 計上すべきで 反対

竹尾 忠雄 議員

私は町政の優先事業は、中学校体育館屋根の雨漏り改修事業だと思ふ。平成25年度と平成26年度の中学生模擬議会での生徒の訴え、町監査委員の「早急に行うこと」と記された意見書、昨年の2度にわたる議会からの意見書は町民の民意である。新年度の予算には計上されず、町長は早急に改修する考えはないのか。町長は一般質問で「雨の日以外は使える」と答弁したが、小坂町長には生徒に寄り添う姿勢がない。体育館は災害時の避難所になる場所であり、早急に改修すべきである。

次に、交流拠点施設建築工事費1412万7千円について、床面積は約51㎡(約15坪)で場所は東酒々井のさるすべり公園の東電の鉄塔跡地である。私は隣接地に自治会館があるので、その自治会館を利用するよう指導すべきと考える。箱モノを作れば将来永遠に管理費が必要となることを指摘して反対する。

◆ 議案第16号 令和元年度水道事業会計予算額 ◆

	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出	議決結果
予算額	5億7937万3千円	4億2025万7千円	1億8993万円	8億2877万2千円	原案可決 (賛成12人 反対0人)

◆ 議案第17号 令和元年度下水道事業会計予算額 ◆

	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出	議決結果
予算額	3億8588万2千円	4億4239万円	1億3467万3千円	2億3063万2千円	原案可決 (賛成12人 反対0人)



増築工事の完成は令和2年3月を予定しています

プレミアムエールを増築

交流スペースや会議室、授乳室を整備

平成31年3月定例会で上程された議案は次のとおりです。

議案

【議案第1号】
指定居宅介護支援事業所の指定権限が県から町に移譲

介護保険法の一部改正により、指定居宅介護支援事業所の指定権限が県から町に移譲されるため、町の条例を制定するもの。

※全員賛成で可決

【議案第2号】
森林環境譲与税基金条例を制定

森林環境譲与税が国から町に譲与され、間伐や人材育成、担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の財源に充てるため

の、管理・運用益金の処理等について定める条例を制定するもの。

※賛成多数で可決

【議案第3号】
職員の長時間労働を是正するため条例を改正

働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律および人事院規則の改正等に伴い、長時間労働を是正するため、職員の時間外勤務の上限を原則1か月45時間以下、年間360時間以下とするように条例の一部を改正するもの。

※全員賛成で可決



働き方改革を推進

【議案第4号】
防災会議の委員報酬を規定するもの

町地域防災計画の見直しにあたり、町防災会議を実施する予定であることから、同会議委員への報酬額を新たに加えるため、条例を改正するもの。

※全員賛成で可決

【議案第5号】
学校教育法の改正に伴い放課後児童支援員の規定を改正

学校教育法の改正により専門職業人の養成を目的とする新たな高等教育機関として、専門職大学が設けられることに伴い、専門職大学の前期課程修了者に対し、短期大学士相当の文部科学大臣の定める学位が授与されることとなったため、町条例における放課後児童支援員の規定を改正するもの。

※全員賛成で可決

【議案第6号】
**国保税の資産割を廃止し
 課税限度額を引き上げ**

国民健康保険の県広域化に伴い、国民健康保険税の賦課方式を現行の4方式から資産割を廃止し、3方式にするもの。また、課税の公平性を確保するため、課税限度額の引き上げを行うもの。

※賛成多数で可決

【議案第7号】
**水道布設工事監督者の要件
 を改めるもの**

水道法施行規則が一部改正されることに伴い、水道布設工事監督者の要件が改められることから、町水道の布設工事監督者の配置基準および資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正するもの。

※全員賛成で可決

【議案第8号】
一般会計を減額補正

今回の補正は、歳入では、国・県支出金および町債や寄附金等の調整を行い、歳出では、ふるさと納税増加に伴う返礼品等の関係費用の増額とふるさと基金への積立金の増額や各公共施設の光熱水費の増額と、多目的協働施設（酒の井の碑隣接地）整備事業、各小中学校テレビ購入事業、大室台小学校グラウンド改修事業等を行うため、増額補正をするもの。

また、各種事務事業の整理等による決算見込みから減額等、



「酒の井の碑」隣接地を多目的協働施設として整備

調整を行うもの。
 なお、年度内に終了できない見込みの事業について、繰越明許費、事業の確定により継続費の変更をするもの。

※全員賛成で可決

＜一般会計補正予算額＞

補正前	67億2148万6千円
補正額	△3億963万円
合計	64億1185万6千円

【議案第9号】
**国民健康保険特別会計を
 減額補正**

今回の補正は、歳入歳出額の確定等に伴うものや財政調整基金の歳入歳出について、所要の補正をするもので、歳出では、基幹系機器使用料に係る総務費および基金積立金を減額、歳入では、額の確定に伴い、基盤安定繰入金および基金繰入金を減額するもの。

※全員賛成で可決

＜国民健康保険特別会計補正予算額＞

補正前	24億9590万2千円
補正額	△4481万9千円
合計	24億5108万3千円

【議案第10号】
**介護保険特別会計を
 減額補正**

今回の補正は、歳入歳出額の確定等に伴い、所要の補正をするもので、歳出では、総務費、保険給付費および地域支援事業費の決算見込みにより減額するもの。

※全員賛成で可決

＜介護保険特別会計補正予算額＞

補正前	13億5335万9千円
補正額	△4630万1千円
合計	13億 705万8千円

【議案第11号】
**後期高齢者医療特別会計
 を増額補正**

今回の補正は、歳入歳出額の確定等に伴い、所要の補正をするもので、歳出では、後期高齢者医療広域連合納付金を増額し、歳入では、保険料を増額するとともに、一般会計繰入金を減額するもの。

※全員賛成で可決

＜後期高齢者医療特別会計補正予算額＞

補正前	2億5986万1千円
補正額	341万4千円
合計	2億6327万5千円

議案第12号から
第17号は

議案第12号から17号は4ページから6ページをご覧下さい。なお、各議案の採決結果はすべて可決です。

【議案第18号】
監査委員に門脇氏を再任

任期満了に伴い、門脇尚樹氏を引き続き監査委員として再任するため、議会の同意を求めもの。

※全員賛成で同意



監査委員の門脇尚樹氏

【議案第19号】
教育委員会委員
大塚氏の任命を同意

教育委員会委員の浦壁京子

氏の辞職に伴い、後任として、長年にわたり小学校教諭として活躍し、酒々井町の社会教育指導員としても尽力いただいた大塚益子氏を委員として任命するため、議会の同意を求めもの。

※全員賛成で同意



教育委員会委員の大塚益子氏

【議案第20号】※追加議案
プリミエールに交流スペース、会議室、授乳室を増築し、多世代に配慮

国の補正予算に伴う地方創生拠点整備交付金事業の採択を受けたことにより、プリミエール酒々井に交流スペースや会議室、授乳室を増築するため、一般会計を増額するもの。

※賛成多数で可決

<一般会計補正予算額>

補正前	64億1185万6千円
補正額	1億9260万8千円
合計	66億446万4千円

【議案第21号】※追加議案
町道の認定および変更

町道について、認定1路線、変更1路線をするもの。変更となる町道は上岩橋地先の町道01・004号線で千葉県施行による富里市七栄地先の国道296号から酒々井アウトレットへ向かう県道富里酒々井線の交差点改良工事に伴い、接続する当該路線の線形が変更となつたことから路線の変更を行うもの。また、これに伴い一部区間を新たに町道2B・342号線として認定するため議会の議決を求めもの。なお、今回の変更および認定は、富里市の行政区域が終点となるため、道路法



改良工事が行われたアウトレットに向かう交差点

の規定により、区域外認定について富里市議会から承諾を得ている。

※全員賛成で可決

議案への
反対討論

【議案第2号】
企業負担がなく、新たな
町民負担が増えるため
反対

地福 美枝子 議員
森林整備は欠くことはできず、国の森林、林業政策の抜本的転換は、待たなしの事態であるが次の2点を指摘して反対

議会の話題

令和元年度の当初予算において特別職報酬等審議会の予算として委員6人分の報酬が計上されました。
特別職報酬等審議会とは、町長の諮問に応じ、町議会議員の報酬や町長や教育長の給料の額について、審議する町長の附属機関です。議会としては、今後の動きを注視していきます。

する。
第1は、森林環境保全について国が本来負うべき責務を明らかにしておらず、町民に新たな負担を課す内容である。
第2は、森林環境税は、企業に負担を求めず、個人町民税に上乗せ徴収し、町民へ新たな負担を課すものとなっているからである。町民との負担の公平性にも反し、企業が負担しない理由が全く明らかになっていない。国と企業の責任を免罪するものである。以上2点について、国が責任を持って取り組むことを強く求めていくべきであり反対する。

議案への反対論

【議案第20号】

プリミエール増築工事（約2億円）はエントランスホールの利便性が低下するので**反対**

竹尾 忠雄 議員

平成30年度一般会計補正予算案のプリミエール増築工事は、総事業費約2億円、延床面積約225㎡（会議室72㎡、交流スペース153㎡）であるが、次の理由から反対する。

1つ目は、現在のプリミエールはエントランスホールが明るく、大きなガラス面により景観が良く利用者が本や新聞を読んだり、くつろげるスペースとなっている。しかし、増築により、既存のガラス面が撤去され、明るさと景観が悪くなりエントランスホールの利便性が低下することから反対する。

2点目は、交流スペースが必要であれば、中央台1丁目

の旧社会福祉協議会の事務所（千葉信用金庫所有の建物）を賃借し対応した方が財政的にも節減できると考え反対する。

議案への賛成討論

【議案第20号】

増築で町民の利用や活用に大きく寄与することから**賛成**

御園生 浩士 議員

今回提案されたプリミエール増築工事予算は、前回と違い完成施設内で収益を上げる必要がないこと。また、本年に入り、ホールでの公演に際し、定員をオーバーする町民を入れてしまい、消防法に違反することがあった。

今回の増築案で、ホールと一体的に運用することにより、法令違反もなく町民の利用や活用についても大きく寄与するものと考えて賛成する。

諮問

【諮問第1号】

松本氏を人権擁護委員に**推薦**

現在3人の酒々井町の人権擁護委員の定数が1名増員されることとなり、新たに松本真吾氏を推薦するため、議会に意見を求めるもの。

※全員賛成で適任



松本真吾さん

請願

【請願第1号】

後期高齢者の窓口負担について原則1割の継続を求めるもの

経済的な理由により必要な

【発議案第2号】
平和都市宣言に非核を加えるよう要望する意見書

町としてより積極的に町民の安全・安心に対する意思表示をすることが必要と考えるため、町制施行130周年の年となる令和元年度に、現在の「平和都市宣言」を基盤とし、さらに核廃絶賛同の趣旨として「非核」を新たに加えた「非核・平和都市宣言」に改正し、町民はもとより世界に向け宣言するよう要望する意見書を町に提出するもの。

※賛成多数で可決

発議案

【発議案第1号】

議員の期末手当を特別職に準じて引き上げ

平成30年12月定例議会において、特別職の期末手当の引き上げに関する条例改正が行われたことから、特別職の期末手当の引き上げに準じて、町議会議員の期末手当について、6月分を「1・70月」から「1・80月」に、12月分を「1・85月」から「1・80月」にそれぞれ変更し、「0・05月」分を引き上げるもの。

※賛成多数で可決



町制施行100周年時に平和都市として宣言されました

【発議案第3号】
**国に「核兵器禁止条約」を
 批准・署名を求める意見書**

2017年7月7日に人類史上初めて国連本部において、「核兵器禁止条約」が国連加盟国（193か国）約3分の2にあたる122か国の賛成で採択され、核兵器の「開発、実験、生産、製造、取得、保有、貯蔵」などが禁止、さらに「使用、使用の威嚇」などが禁止された。

国際社会が核兵器を違法化し「悪の烙印」を押す方向に進むことは、北朝鮮を孤立させ、核開発を放棄させる大きな力になる。日本としても、核兵器禁止条約に参加することによって、強い力で北朝鮮に非核を迫れることになる。

唯一の戦争被爆国の日本の態度が問われている。日本が条約に背を向ける態度は、内外で強い失望と批判を招いている。軍事同盟への態度の違いを超え、核兵器禁止条約への参加を追求することを求め、国に意見書を提出するもの。

※賛成多数で可決

【発議案第4号】
**辺野古の基地建設を中止し
 普天間基地の無条件撤去を**

沖縄県名護市辺野古の米軍新基地建設は、技術的に不可能であり、沖縄県民投票で示された民意を踏まえ、直ちに工事を断念して普天間基地の無条件撤去へ米国と交渉すべきである。

埋め立て地の海域には、最深90mの軟弱地盤が存在するが、国内の工事実績は深さ65mまでしかない。また、政府は工期を5年としていたが、工期も総工費も白紙に戻った。住民投票の結果を無視して埋め立て工事を続け、毎日数千万円の税金が湯水のように投入されている現状を踏まえ、国に対して意見書を提出するもの。

※賛成少数で否決

【発議案第5号】
**中学校体育館屋根の早期
 改修を求めるもの**

現在、中学校の体育館は雨漏りにより、授業や部活に支障があり、生徒、PTA、学校側から改修の強い要望が寄せられて

いる。また、学校の施設は、災害時には「指定避難場所」としての役割もあることから、緊急かつ重要性を鑑み、優先順位第1位として令和元年度予算に計上し、早期改修を実現することを要望するもの。

※賛成多数で可決

発	議
案	の
賛	成
討	論

【発議案第2号】

**世界から核兵器をなくす
 ことが重要であり賛成**

地福 美枝子 議員

日本は、唯一の「戦争による被爆国」である。その苦しみを受け止め、その思いを国際社会に向けて発信し、世界から核兵器の脅威をなくす努力をすることは重要である。そのために、日本政府は国連の「核兵器禁止条約」に速やかに署名・批准すべきである。非核を宣言することは被爆国日本の町としては、当然である。一部不安定な社会情勢や核開発をしている国があ

るから、非核宣言をするということではなく、核のない世界にする。その意思を示すことが重要である。以前に私も、非核を加えるべきだと提案したことがあるが、宣言はもっと早くすべきであったと思う。

※他に発議案第4号に対して、齊藤議員、地福議員から賛成討論がありました。

発	議
案	の
反	対
討	論

【発議案第4号】

**普天間飛行場の危険を
 除去することが
 重要であり反対**

小早稲 賢一 議員

米軍普天間飛行場の危険性を除去するのが基地問題の最優先課題であり、原点である。また、実現可能な唯一の選択肢は、辺野古移設である。現在の軟弱地盤については、地盤を硬化する方法や杭打ちの工法など、当然のことながら新技術が開発されるものと考えている。辺野古移

設は普天間の危険性を除去し、米国による抑止力を維持する現実的な選択肢であり、政府は着実に工事を進めなければならぬことから反対する。

【発議案第5号】

**改修計画は計画的に実施
 すると言っており反対**

越川 廣司 議員

中学校体育館屋根改修の意見書は今回で3回目であるが、その間、行政からは何回も説明を受け、改修事業は計画的に実施すると説明を受けている。普通財産の売却や起債による実施を提案した議員もいたが、行政からは「現状では良質な補助金についてお願している段階」と説明を受けたところである。振り返ると、行政から提案された案件について、反対の反対をし、いかにも行政をチェックしているように地域に会報の配布等をしている。これは大きな間違いである。行政は少ない予算の中で計画的に町民の福祉向上に努めているところである。本件は「時期を見て実施する」と説明を受けていることから反対する。

各常任委員会での審査結果

※件名は一部省略しています。

○…委員長
○…副委員長

件名		審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第3号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	3	0	可決
議案第4号	特別職の職員等で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	3	0	可決
議案第6号	国民健康保険税条例の一部改正	3	0	可決
議案第8号	平成30年度一般会計補正予算 委員会担当分野	3	0	可決
議案第12号	令和元年度一般会計予算 委員会担当分野	3	0	可決

件名		審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第1号	指定居宅介護支援の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定	4	0	可決
議案第5号	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	4	0	可決
議案第8号	平成30年度一般会計補正予算 委員会担当分野	4	0	可決
議案第9号	平成30年度国民健康保険特別会計補正予算	4	0	可決
議案第10号	平成30年度介護保険特別会計補正予算	4	0	可決
議案第11号	平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算	4	0	可決
議案第12号	令和元年度一般会計予算 委員会担当分野	3	1	可決
議案第13号	令和元年度国民健康保険特別会計予算	3	1	可決
議案第14号	令和元年度介護保険特別会計予算	3	1	可決
議案第15号	令和元年度後期高齢者医療特別会計予算	3	1	可決
請願第1号	後期高齢者の窓口負担の原則1割負担の継続を求める請願書	1	3	不採択

件名		審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第2号	森林環境譲与税基金条例の制定	2	1	可決
議案第7号	水道の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正	3	0	可決
議案第8号	平成30年度一般会計補正予算 委員会担当分野	3	0	可決
議案第12号	令和元年度一般会計予算 委員会担当分野	2	1	可決
議案第16号	令和元年度水道事業会計予算	3	0	可決
議案第17号	令和元年度下水道事業会計予算	3	0	可決

本会議での議決結果

議案と議決結果

賛成・・・○ 反対・・・× 議長は採決に加わりません。

番号	件名	本会議の採決結果																
		採決結果	濱口	須藤	欠員	欠員	御園生	川島	齊藤	内海	佐藤(議長)	江澤	欠員	越川	竹尾	地福	小早稲	高崎
1	指定居宅介護支援の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定	可決 (賛12・否0)	○	○	—	—	○	○	○	○	—	○	—	○	○	○	○	○
2	森林環境譲与税基金条例の制定	可決 (賛10・否2)	○	○	—	—	○	○	○	○	—	○	—	○	×	×	○	○
3	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	可決 (賛12・否0)	○	○	—	—	○	○	○	○	—	○	—	○	○	○	○	○
4	特別職の職員等で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	可決 (賛12・否0)	○	○	—	—	○	○	○	○	—	○	—	○	○	○	○	○
5	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決 (賛12・否0)	○	○	—	—	○	○	○	○	—	○	—	○	○	○	○	○
6	国民健康保険税条例の一部改正	可決 (賛10・否2)	○	○	—	—	○	○	○	○	—	○	—	○	×	×	○	○
7	水道の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正	可決 (賛12・否0)	○	○	—	—	○	○	○	○	—	○	—	○	○	○	○	○
8	平成30年度一般会計補正予算	可決 (賛12・否0)	○	○	—	—	○	○	○	○	—	○	—	○	○	○	○	○
9	平成30年度国民健康保険特別会計補正予算	可決 (賛12・否0)	○	○	—	—	○	○	○	○	—	○	—	○	○	○	○	○
10	平成30年度介護保険特別会計補正予算	可決 (賛12・否0)	○	○	—	—	○	○	○	○	—	○	—	○	○	○	○	○
11	平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算	可決 (賛12・否0)	○	○	—	—	○	○	○	○	—	○	—	○	○	○	○	○
12	令和元年度一般会計予算	可決 (賛10・否2)	○	○	—	—	○	○	○	○	—	○	—	○	×	×	○	○
13	令和元年度国民健康保険特別会計予算	可決 (賛10・否2)	○	○	—	—	○	○	○	○	—	○	—	○	×	×	○	○
14	令和元年度介護保険特別会計予算	可決 (賛10・否2)	○	○	—	—	○	○	○	○	—	○	—	○	×	×	○	○
15	令和元年度後期高齢者医療特別会計予算	可決 (賛10・否2)	○	○	—	—	○	○	○	○	—	○	—	○	×	×	○	○
16	令和元年度水道事業会計予算	可決 (賛12・否0)	○	○	—	—	○	○	○	○	—	○	—	○	○	○	○	○
17	令和元年度下水道事業会計予算	可決 (賛12・否0)	○	○	—	—	○	○	○	○	—	○	—	○	○	○	○	○
18	監査委員の任命同意	同意 (賛12・否0)	○	○	—	—	○	○	○	○	—	○	—	○	○	○	○	○
19	教育委員会委員の任命同意	同意 (賛12・否0)	○	○	—	—	○	○	○	○	—	○	—	○	○	○	○	○
20	平成30年度酒々井町一般会計予算	可決 (賛10・否2)	○	○	—	—	○	○	○	○	—	○	—	○	×	×	○	○
21	町道路線の認定及び変更	可決 (賛12・否0)	○	○	—	—	○	○	○	○	—	○	—	○	○	○	○	○
諮問1	人権擁護委員の候補者の推薦	適任 (賛12・否0)	○	○	—	—	○	○	○	○	—	○	—	○	○	○	○	○
請願1	後期高齢者の窓口負担の原則1割負担の継続を求める請願書 請願者 全日本年金者組合酒々井支部長藤橋政治	否決 (賛4・否8)	×	×	—	—	×	×	○	○	—	×	—	×	○	○	×	×
発議1	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正 提出者 高崎長雄議員 他3名	可決 (賛9・否3)	○	×	—	—	○	○	○	○	—	○	—	○	×	×	○	○
発議2	「非核・平和都市宣言」への改正に関する意見書の提出 提出者 小早稲賢一議員 他4名	可決 (賛10・否1)	○	○	—	—	棄権	×	○	○	—	○	—	○	○	○	○	○
発議3	国に「核兵器禁止条約」を批准・署名を求める意見書の提出 提出者 地福美枝子議員 他3名	可決 (賛7・否4)	○	×	—	—	棄権	○	○	○	—	○	—	×	○	○	×	×
発議4	政府は沖縄県の民意を尊重することを求める意見書の提出 提出者 竹尾忠雄議員 他1名	否決 (賛4・否7)	×	×	—	—	棄権	○	○	×	—	×	—	×	○	○	×	×
発議5	酒々井中学校体育館屋根の早期改修を求める意見書の提出 提出者 御園生浩士 他8名	可決 (賛9・否3)	○	○	—	—	○	○	○	○	—	○	—	×	○	○	×	×

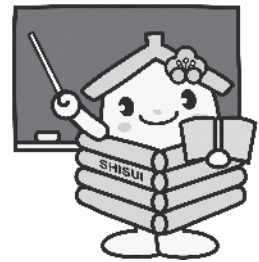
※件名は一部省略しています。

ここが聞きたい

一般質問で町の考えを問う

一般質問は、町の執行機関に疑問点をただし見解を求めるものです。3月定例会の一般質問は、3月13日と14日の2日間に8名の議員が行財政全般にわたり、今後の対応策などについて質問を行いました。

「議会だより しすい」に掲載されている内容は紙面の都合上、要点のみとなっています。詳細については、町図書館（プリミエール酒々井内）で会議録をご覧ください。また、町のホームページからもご覧いただけます。3月定例会の会議録は、6月上旬以降、閲覧することができます。



酒々井町マスコットキャラクター 井戸っこ（しすいちゃん）

No.1 御園生 浩士 議員・・・・・・・・・・P 15

- ◆野田市の虐待死事件
- ◆令和元年度（2019年度）の予算
- ◆（仮称）酒々井町青少年交流の家
- ◆町道の廃止
- ◆移動販売車事業

No.2 齊藤 博 議員・・・・・・・・・・P 15

- ◆酒々井中学校体育館屋根の早期改修
- ◆千葉光徳会中沢病院
- ◆馬橋川周辺の埋め立て事業
- ◆ちびっこ天国

No.3 濱口 信昭 議員・・・・・・・・・・P 16

- ◆地域創造発信拠点施設
- ◆まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況
- ◆ポイ捨て等防止条例

No.4 江澤 眞一 議員・・・・・・・・・・P 16

- ◆酒々井町の福祉事業
- ◆個別施設計画
- ◆循環バス導入

No.5 須藤 伸次 議員・・・・・・・・・・P 17

- ◆道路の環境整備
- ◆酒々井中学校体育館の改修計画
- ◆婦人科、産婦人科、小児科病院の誘致

No.6 竹尾 忠雄 議員・・・・・・・・・・P 17

- ◆教育環境の整備
- ◆上岩橋の町道01-004号線における地形測量業務委託
- ◆馬橋地先の盛土崩落
- ◆京成宗吾参道駅のバリアフリー化
- ◆下岩橋地先（市街化区域）の生活道路の改修
- ◆柏木排水路の土砂撤去について

No.7 地福 美枝子 議員・・・・・・・・・・P 18

- ◆国民健康保険税の引き下げ
- ◆学校の施設整備
- ◆外出支援事業補助制度の現状
- ◆循環バスの進捗状況
- ◆東酒々井にある「井戸端」
- ◆自衛官募集
- ◆町民にやさしい町づくり

No.8 小早稲 賢一 議員・・・・・・・・・・P 18

- ◆少女の命は、なぜ救えなかったのか
- ◆農工商、観光の振興と町の活性化

一般質問で一問一答を導入

当町議会の一般質問は「一括質問一括答弁方式」を採用していましたが、質問の論点を明確にするため、新たに「一問一答方式」の質問方法を加えました。

問

野田市の虐待事件を受けて町はどう対応したのか

答

所管する施設に通知出すなど注意喚起を強めている



御園生 浩士 議員

問 野田市の虐待事件について、本事件を受け教育委員会等は、現場への注意喚起をどのようにしたのか。また、今後の対応について伺う。

答 学校教育課長 報道を受けてからの対応について、町教育委員会としては、事件後、所管する施設等に対して通知を出すなど注意喚起を一層強めている。今後の対応については、関係者が課題を認識し実行することが重要と考えている。なお、県から連携の強化および定期的な情報共有を求める通知も来たことから、校長会議等で虐待等に関する課題を確認して、しっかり対応していきたい。

令和元年度（2019年度）の予算内容を伺う

問 飯積地先の情報発信拠点整備事業の本年度予算と収支計画を伺う。

答 経済環境課長 予算の概要は、臨時職員2名分の賃金、相談・支援業務にあたる専門員の報償費、消耗品費、施設パンフレット等の印刷製本費、光熱水費、通信運搬費、施設設備の保守等の

委託料、備品等の賃借料、施設の設備工事費となっている。なお、当該事業においては、農工商観光や住民活動の場の提供など（仮称）「まるごとすい」として事業運営を計画しており、現段階では収支計画等を調整しているところである。

問 中学校体育館屋根の雨漏り修理工事の予算について伺う。

答 教育次長 中学校体育館屋根補修工事の予算は、新年度の当初予算に計上していない。

問 交流サロン「井戸端」の閉所と代替え施設および新たな施設の事業内容について伺う。

答 住民協働課長 交流サロン「井戸端」は、東京ガス株式会社から建物の老朽化を理由として賃貸借契約を終了した旨の申し出があり、協議を重ねた結果、9月30日に返還することになった。新たな施設については、多目的協働施設整備事業として、酒の井の隣接地の既存建物を地域活動拠点や集会など多目的な利用ができる施設として活用を図っていきたい。

問

酒々井中学校体育館屋根の改修の見通しと事業費は

答

多額の費用を要することから国の補助金の活用を考えている



齊藤 博 議員

問 中学校体育館屋根の改修が今年度も予算化されなかった理由を伺う。

答 教育次長 中学校体育館屋根の改修は、多額の費用が想定されることから、国庫補助金の活用を前提に考えており、今年度の文部科学省補助金の内示と町の予算策定期等との関係から、新年度当初予算に計上していない。

問 多額の費用とはいくらなのか。

答 教育次長 将来の予算計上に関することを示すことは困難である。

問 事業費も明らかにしないで、我々議会に何を判断しろというのか。

答 教育次長 事業費の金額を答えることは控えさせていただく。

問 国庫からの補助金は、いつから申請しているのか。また、補助金の名称、補助率、申請事業費はいくらか。

答 教育次長 平成28年度分から申請しているが平成29年度分は学校行事の関係から申請していない。なお、補



屋根の改修要望がある体育館

助金名は学校施設環境改善交付金である。事業費の金額は控えさせていただく。

問 申請が採択されない理由を伺う。

答 教育次長 この補助金は耐震補強やブロック塀、エアコン設置も対象となっている。国の考えにもよるが、屋根の雨漏り改修が国にとつて最優先課題になっていないと考えられる。

問 採択される見通しは。

答 町長 私も文科省に出向き交渉はしているが、ブロック塀の事故等があり、国として緊急性を考慮し、補助対象の優先順位が変わってきている。

問 これまでの答弁を聞いていると、補助金が採択される可能性は低いと思う。そこで、一時的に大きな財源負担を避けるために、起債単独事業により、まずは屋根の修繕を完了させ、その後、借金を何年かかけて返済していく方法で実施する考えはないのか。

答 教育次長 補助事業の採択を最優先に考えているが、体育館の屋根の現状を見極めながら並行して起債の活用に関しても検討したいと考えている。

問

仮称まるごとすいの完成時期
および開業時期は

答

建物工事後に設備の追加工事を
行い設備が整い次第供用開始したい



濱口 信昭 議員

問 仮称まるごとすいについて、次の点を伺う。

① 建物と付帯施設の完成時期は。
経済環境課長 建物は本年3月22日までの完成を目指しているが、完成後に設備の追加工事をを行う予定である。

② 業務開始の予定期日は。

経済環境課長 現時点では供用開始時期は未定である。なお、準備が整い次第、供用開始を進める

③ 開始時に実施予定の業務は

経済環境課長 当施設は、特産品等のマーケティング、中小企業や小規模事



建物が完成した飯積の情報発進拠点

業者への商品開発や販路確立等の相談支援機能を有するとともに、観光案内や住民活動の場の提供などを併設した運用を予定している。

町の計画の進み具合と
達成見込みは

問 まちひとしごと創生総合戦略基本目標4に関して次の点を伺う。

① 値目標の現状と達成見込みは。

健康福祉課長 前期高齢者における要介護認定率は、平成30年12月末での認定率は2.4%と目標値より0.3ポイント上回っている。

② 重要業績評価指標「特定健診等受診率の増加」の推移状況と達成見込みおよび達成に向けての施策は

健康福祉課長 平成26年度の受診率は25.8%に対して、平成29年度の受診率は25.7%と、0.1ポイントの減少となった。今後は、集団健診の他に個別に医療機関で健診を受けられる体制を構築するなど、受診勧奨と併せて受診機会の拡大を検討してまいりたいと考えてる。

問

災害時に高齢者や障害者の避難
計画は万全か

答

避難の支援体制を整えることが
喫緊の課題と認識している



江澤 眞一 議員

問 地域福祉計画について、次の点を伺う。

① 災害時の避難行動要支援者の支援計画について、町の考えを伺う。また、災害時要支援者名簿登録の現状を伺う。

健康福祉課長 近年、自然災害が多発していることから、自力での避難が困難な高齢者や障害者といった、いわゆる「避難行動要支援者」に対する避難の支援体制を整えることが、喫緊の課題と認識している。また、町の災害時

要支援者名簿には、本年1月31日現在で195人が登録されている。

② 介護保険制度における家族介護支援制度について、町の取り組みを伺う。

健康福祉課長 町では、在宅で重度の要介護高齢者等の介護を行う家族に対し、身体的、精神的、経済的負担の軽減を図るため、対象の介護者に年間10万円の支給を行う「家族介護慰労金」を実施している。

③ 障害者の就労の現状について、就労継続支援A型とB型の対象者はそれぞれ何名か。また、町内に対象事業所はあるのか伺う。

健康福祉課長 就労継続支援A型、B型の事業所に通所できる対象者については、延べ人数で754名であり、そのうちA型7名、B型27名が通所している。また、町内には、利用者との雇用契約に基づくA型の事業所はないが、雇用契約に基づかないB型の事業所は4か所あり、15名が利用している。

役場本庁舎の改修計画は

問 本年度の本庁舎改修工事計画について具体的に伺う。

企画財政課長 中央庁舎の改修は、耐震補強等改修工事設計業務を本年度第3四半期頃まで実施し、その後工事の経費を予算化する予定である。

循環バス導入の状況は

問 本年度の実施計画について伺う。

副町長 循環バスの導入は、5つの事業の実施状況を検証し、近隣市町の状況を踏まえて、課題等を解消しながら進めていきたい。なお、交通弱者に対して町内に十数箇所の停留所を設けた循環バスの試行運行を想定している。

問

町道横町下台線と国道296号の
交差点の安全対策を

答

町の交通体系を考え総合的に
対応を検討する



須藤 伸次議員

問 県道（宗吾・酒々井線）については、完成が遅れているが、町民の協力を得て肅々と進んでおり、一日も早い完成が待たれる。町道（横町・下台線）は横町の拡幅工事は進んでいるが、下台の国道296号との交差点の改良については、早急の実施すべきである。人身事故が起きては遅いと思うが、町の考えを伺う。

まちづくり課長 この町道は平成25年度に交通安全対策として、歩行者を優先させるためのセンターライン消去や車道を狭めて路肩のカラー舗装工事を実施している。また、大型規制の強化や通過交通を抑制できるように総合的に対応を検討していく。



下台の国道296号との交差点

中学校体育館の改修計画は

問 屋根の改修については、再三訴えてきたが、今年度の予算に計上していない。現状、屋外スポーツだけではな

く屋内スポーツの施設として改修を急ぐべきと思う。避難場所として指定していることから改修工事を急ぐべきと思うが、町の考えを伺う。

婦人科や小児科医院の誘致をすべき

問 当町は内科、整形外科、皮膚科等はあるが、婦人科、産婦人科、小児科の専門医がない状況である。少子高齢化対策、人口減少解消のため医療施設の誘致をすべきと思うが、町の考えを伺う。

町長 身近に医療機関があることは、大変望ましいが、当町の出生数は、昨年、約50年ぶりに100人を下回り、統計では、今後の出生数の増加も期待できない状況である。また、医師不足等、医療機関の抱える問題を考慮すると医療施設の誘致は大変厳しい状況と考える。婦人科系や小児科系の病院が町内で開院していただけるよう、議員とともに要望していきたい。

問

中学校体育館の雨漏り対策は
いつまでに完成させるのか

答

出来るだけ早期に実施できるよう
努めていく



竹尾 忠雄議員

問 今年の2月8日に私は、中学校体育館の雨漏り状況を先生の案内で確認してきたところ、雨漏りする場所が15か所あり、床にバケツを置く目印があった。私は雨漏りの心配がなく来年の卒業式が開催されるよう要求します。雨漏り改修工事は何時までに完了させるのか。

教育次長 実施時期の明言は控えるが、現場の状況を見極めたうえで、できるだけ早期に実施できるよう努めていく。

上岩橋の町道計画の目的は

問 上岩橋の町道01・004号線における地形業務測量業務委託について次の点を伺う。
① 平成30年10月11日に契約された地形測量の目的を伺う。

まちづくり課長 県が実施している国道296号の交差点改良工事の完成に伴い、国道51号からインターチェンジに向かう車両の増加が予想されることから、道路計画のための地形測量業務となつている。

② 昨年12月の地元の会合で町長は

「現在の道路の丁字路において交通事故が多いので、赤道を拡幅して新しく道路を造る」と話したそうだが、事実なのかを伺う。

町長 交差点の事故が多く、一時停止が守られていないなど危険があることから、危険防止策について議論を交わした。

③ 町長は今年2月の上郷地区の清掃時に「2年から3年中に新しい道路を造る」と話したと聞いたが、事実なのかを伺う。

町長 そのことについて、記憶はない。
④ 私が法務局で調査してきたところ、小坂町長の所有地（3筆）が赤道に接続していた。町民から疑念を持たれるようなことは、慎むべきである。見解を伺う。

町長 道路計画はまだ定まっていないが、私もしくは私の家族が所有している場所に計画することはなく、誤解を招くようなことはしていない。あくまで交通の安全を確保する計画である。また、私が主導して計画を実施しているものでもない。

問

国保税の子どもの均等割軽減を
体育館エアコン設置も子育て支援

答

国保税は国の責任で対応すべき
夏までのエアコン設置は考えていない



地福 美枝子議員

問 ① 国民健康保険税の引き下げ
について、18歳未満の均等割は1人
29400円、子どもの均等割を無料
にすべきと思うが、考えを伺う。

税務住民課長 国保制度の制度設計に
関わる事柄は、本来、国が責任をもっ
て対応すべきものと考えている。

② なぜできないかの理由は
税務住民課長 子どもに係る均等割保
険税の軽減措置の導入は、地方から国
へ提言・提案しており、今後も国の検
討状況を注視していきたい。

各学校の体育館にエアコン設置を

問 ① 昨年の夏は猛暑だった。小中
学校の体育館のエアコンを夏までに設
置できないかを伺う。

教育次長 エアコンを夏までに設置す
ることは考えていない。

② エアコン設置にかかる費用は。ま
た、国の補助金について伺う。
教育次長 事業費は、設計書作成など
の必要があり、現時点では控えさせて
いただく。また、補助金は文部科学省
補助金（補助率3分の1）がある。

外出支援事業補助制度の現状は

問 ① 利用状況と周知方法を伺う。

健康福祉課長 本年1月4日から1月
末日までに利用助成券を92人に交付し、
延べ36人が利用した。周知は、昨年の
12月、本年1月と3月の広報紙に掲載
し、窓口にはチラシを配置した。

② 利用が町内のみ、1回の利用金額
に上限があるなど、利用しにくいとの
声がある。改善すべきではないか。

健康福祉課長 本事業は、「しすいふ
れ愛タクシー運行事業」の補完を目的
に、町内の病院、買い物、公共交通機
関への移動の充実、町内の活性化を考
慮して、利用条件を設定している。

循環バス導入の進捗状況は

問 提案されていぶん時間がたって
いる。どのような状況か。

副町長 循環バスの導入は、5つの事
業の実施状況を検証し、近隣市町の状
況を踏まえて、課題等を解消しながら
進めていきたい。なお、交通弱者に対
して町内に十数箇所の停留所を設けた
循環バスの試行運行を想定している。

問

野田市の虐待事件を受けて町では
どのような対応ができるのか

答

児童の生命を最優先に関係機関と
連携して迅速に対応する



小早稻 賢一議員

問 野田市の小学4年生栗原心愛さん
が自宅で死亡した事件について、学校
のアンケートで「SOS」を発した少
女の命を、なぜ救えなかったのか。次
の点について伺う。

① 転居や転校で不十分だった情報の
伝達と共有、父親の言い分に気後れし、
後手に回った対応などの課題があった。
もし、当町で同様な事件が発生した場
合、どのように対応できるのか。

健康福祉課長 町では、虐待のSO
Sがあった場合、関係機関と連携して
児童の安全確認を行うため、迅速に所
属機関や家庭への訪問を行う。その上
で、緊急の措置が必要と判断した場合
は、児童の生命を最優先に一時保護を
実施する。

② 市教育委員会は、小学生が先生に
助けを求めるアンケートを父親に渡し
てしまったが、当町では、どのような
対応ができるのか伺う。

学校教育課長 児童・生徒の悩みは、
各小中学校に設置してある「相談箱」
や定期的に実施している「いじめアン
ケート」個人面談などから情報を収集

しており、緊急を要する事案が明らか
になった際には、児童相談所や警察な
どの関係機関に連絡し、子どもの安全
を第一に考えた対応を取っている。な
お、基本的に教育委員会ではアンケー
トの回答を保護者に開示したことはな
い。また、今後もすることはない。

飯積の情報発信拠点に優秀な人材を
確保するため公簿で募集を

問 熊本県天草市で地元再生の切り札
として設立した組織のセンター長を務
める方がいる。彼は公募によって、4
年前から連日、中小や零細企業の相談
に乗っており、いくつかの実績を残し
ている。当町でもアウトレット地区に
おける農商工観光施設で優秀な人材を
確保するため、広く公募を行ってみる
べきと考えるが、町の対応を伺う。

町長 現在建築中の施設は、地域産業
の創出や支援、観光案内所や住民活動
の拠点など、複合的な運用を考えてい
る。提案のあった天草市の事例のよう
に公設民営という手法も参考にしてい
る。設営をしていきたいと考えている。

令和元年5月臨時会で上程された議案は次のとおりです。

議案

【議案第1号、第2号、第3号】
税条例を専決処分により改正

納税者に不利益が生じないよう、税条例の一部を専決処分により改正したので、議会に承認を求めるもの。

【議案第4号】
JR酒々井駅自由通路の修繕事業を専決処分により繰り越し

3月定例会後に繰越処理を行う必要が生じたため、専決処分により予算を補正したもの。

【議案第5号】
税条例の一部改正

町民税の寄付金税控除について、条例を一部改正するもの。

【議案第6号】
佐藤議員を監査委員に選任

佐藤議員を監査委員に選任するもの。

<議案と議決結果>

賛成…○ 反対…× 議長は採決に加わりません

番号	件名	本会議の採決結果																
		採決結果	小早稲	白井	大石	酒瀬川	金塚	須藤	御園生	川島	齊藤	内海	佐藤	江澤(議長)	竹尾	地福	越川	高崎
1	専決処分の承認 (税賦課徴収条例等の一部改正)	承認 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
2	専決処分の承認 (都市計画税条例の一部改正)	承認 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
3	専決処分の承認 (国民健康保険税条例の一部改正)	承認 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
4	専決処分の承認 (平成30年度一般会計補正予算)	承認 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
5	税賦課徴収条例の一部改正	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
6	監査委員の選任同意	同意 (賛14・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除斥	—	○	○	○	○

地福議員、越川議員、江澤議員に自治功労者表彰

2月6日に開催された全国町村議会議長会定期総会において、自治功労者として地福美枝子議員が27年表彰を越川廣司議員、江澤真一議員が15年表彰をそれぞれ受賞されました。



写真左から江澤議員、地福議員、越川議員

6月定例会のお知らせ

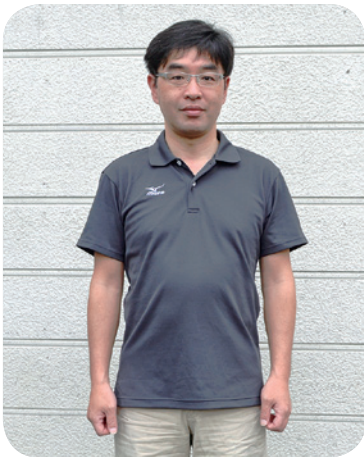
次の定例会は、6月上旬に開会する予定です。会期の概要は、5月28日に開催予定の議会運営委員会で決まります。会期等は、町議会のホームページなどでお知らせします。

なお、詳細は議会事務局にお問い合わせください。

☎ 043(496)1171
 (内線251、252)

PTA会長に聞きました

- ① あなたにとって酒々井町はどんなところですか。
- ② あなたが会長を引き受けた理由はなんですか。
- ③ 町および町議会にどのようなことを期待していますか。



くぼた たかし
久保田 隆志さん
(酒々井中)

- ① 適度に便利で自然も残る、住むにはとても良い所です。
- ② 頼まれたからには、少しでも地域の力になろうと思いました。
- ③ 子どもたちや若い人の声をよく聞いてください。



かんばやし なおき
官林 直樹さん
(大室台小)

- ① 静かで穏やか、災害等にも強く安心して暮らせる町。子育てもしやすい第二のふるさと。
- ② 学校、子ども、地域と関われるチャンスだと思いました。
- ③ 託児施設、サービスの充実で働きやすさ、住みやすさをアピールしていただきたい。



なかだい よういちろう
中臺 陽一郎さん
(酒々井小)

- ① 緑豊かで自然が多く、歴史の風情を感じることができる、住みやすい町です。
- ② 6年間の小学校生活が少しでも有意義になってもらえるように貢献したいと思いました。
- ③ 日本一古く、歴史のある町として更にブランド形成を図っていただきたいです。

委員長 小早稲美穂
委員 白井 則邦
委員 酒瀬川 芳子
委員 須藤 伸次
副委員長 大石 法子
委員長 齊藤 博

5月9日に新たなメンバーが左記のとおり決定し、今回は女性3名選出されました。今後皆様から親しまれる議会報づくりに努めます。

編集にあたって



大室台小学校の入学式であいさつする官林さん